

## シリーズ6

### 内閣総理大臣を覚えよう！（7）

1971年の**ニクソンショック**や1973年の**オイルショック**などによって、10年以上も続いていた「**高度経済成長**」が終わりを告げました。

1970年代は、政治的に見ると、**三木武夫・田中角栄・大平正芳・福田赳夫**の「三角大福」が時に抗争・時に提携の「合従連衡」を繰り返しました。また、1982年に発足した**中曽根康弘**内閣も「田中軍団」の支援を得たため、マスコミは「角影、角営、田中曾根内閣」などと揶揄しました。

**1985年のプラザ合意**により日本は一時、円高不況に陥りましたが、その後は逆に1990年代初頭まで「**バブル経済**」を謳歌することになりました。

1989年7月の参院選で大敗した与党「自民党」は、その後、海部・宮沢などクリーンなイメージをもつ首相のもとで政権を維持しました。しかし、92年末から表面化した佐川急便事件への対処をめぐる自民党は分裂、党内の中心人物だった竹下派の小沢一郎・羽田孜らが新生党、武村正義らが新党さきがけを結成しました。

## 1970・80年代の内閣

### 「タタミ フオオス ナカ3 (さん) タウカカミ」

第64代→(1)(第1次)1972. 7～、自由民主党(第6代総裁)

72年：日本列島改造論、日中共同声明

第65代→(2)(第2次)1972. 12～、自由民主党(第6代総裁)

73年：固定為替相場制から変動為替相場制へ移行＝**ニクソンショック**、  
第4次中東戦争→第1次石油危機、狂乱物価

74年：ロッキード問題 →退陣

第66代→(3)、1974. 12～、自由民主党(第7代総裁)

75年：第1回先進国首脳会議(サミット)

76年：ロッキード問題(前首相の田中角栄が逮捕)により自民党内で抗争起きる  
→「三木おろし」が激化

自民党の河野洋平らが離党して新自由クラブを結成

第67代→(4)、1976. 12～、自由民主党(第8代総裁)  
**78年：日中平和友好条約**

第68代→(5)(第1次)、1978. 12～、自由民主党(第9代総裁)  
 78年：OPEC(石油輸出国機構)が79年からの原油価格値上げを決定  
 →**第2次石油危機**

第69代→(6)(第2次)、1979. 11～、自由民主党(第9代総裁)  
 79年：元号法  
 80年：首相死去により退陣 →**初めての衆参同日選挙**

第70代→鈴木善幸、1980. 7～、自由民主党(第10代総裁・大平派)  
 82年：教科書問題

第71代→(7)(第1次)1982. 11～、自由民主党(第11代総裁)  
 83年：米レーガン大統領との「列島不沈空母」発言

第72代→(8)(第2次)1983. 12～、自由民主党(第11代総裁)  
 ※83年12月衆院選で自民大幅議席減→新自由クラブと連立  
**85年：日本電信電話公社(電電公社)解散→日本電信電話株式会社(NTT)、  
 日本専売公社解散→日本たばこ産業株式会社(JT)**  
**男女雇用機会均等法**  
**先進5カ国蔵相・中央銀行総裁(G5)によるプラザ合意**  
 →円高進行。1ドル=230円台が年末に200円まで上昇→円高不況

第73代→(9)(第3次)1986. 12～、自由民主党(第11代総裁)  
 ※自民単独(86年に新自由クラブは自民党に復帰)  
**87年：日本国有鉄道(国鉄)解散→鉄道事業はJRグループに移行**

第74代→(10)、1987. 11～、自由民主党(第12代総裁)  
 88年：リクルート問題が表面化、**消費税法案成立(翌年4月施行)**  
 臨時教育審議会関連法案が可決  
**89年：「平成」に改元、リクルート問題で退陣**

第75代→(11)、1989. 6～、自由民主党(第13代総裁・中曽根派)  
 89年：7月参議院議員選挙で自民党は大敗、敗北の責任で68日で内閣は瓦解

第76代→(12)(第1次)1989. 8～、自由民主党(第14代総裁)  
 ※海部は、自民党内では非主流派の旧三木派・河本派に属した。

第77代→(13)(第2次)1990. 2～、自由民主党(第14代総裁)  
**91年：湾岸戦争勃発**

第78代→(14)、1991. 11～、自由民主党(第15代総裁・旧大平派)  
**92年：PKO協力法**  
**93年：7月の衆議院選で大敗 →55年体制の崩壊へ**

(1) 田中角栄	(2) 田中角栄	(3) 三木武夫
(4) 福田赳夫	(5) 大平正芳	(6) 大平正芳
(7) 中曽根康弘	(8) 中曽根康弘	(9) 中曽根康弘
(10) 竹下登	(11) 宇野宗佑	(12) 海部俊樹
(13) 海部俊樹	(14) 宮澤喜一	